

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆D-20-1-1
事業名	復興会議ポータルサイトの構築事業
事業費	総額 20,444 千円(国費 16,355 千円) (内訳: 業務委託 20,444 千円)
事業期間	平成 24 年度～平成 28 年度
事業目的・事業地区(必要に応じ、別紙として地図を添付)	原子力災害により町内全域に避難指示が出され、全町民が全国各地に避難している状況。当町の復興に向けて、町が取り組むべき短期・中期・長期的な目標及び施策等を示す復興まちづくり計画等の各種の計画・構想の策定にあたり、町民の意見・提案等を反映し、町民主体の復興まちづくりを推進するための手段の一つとして、Webサイトを構築するものである。
事業結果	町民参加型の復興会議における町民の意見・提案等を踏まえた復興まちづくり計画の策定にあたり、設置した町民会議の情報発信と、遠く離れた町民同士が意見交換できる場、また復興まちづくりに対する意見聴取を目的としたWebサイトを構築した。 (平成 24 年度) ○7000 人の復興会議ポータルサイトの構築 (平成 28 年度) ○双葉町復興ポータルサイト構築
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>当初は町民が避難されて間もなくどのくらいの町民がインターネットを利用されているのか不明な状況での取り組みであったが、多くの町民から意見・提案をいただき復興まちづくり計画等へ反映した。さらに、別事業により多くの町民にインターネット環境が整備されるとともに閲覧も可能になり、復興まちづくりに関する情報発信と意見聴取が図られ、有益な取り組みであった。町民の声を反映した各種の計画・構想の策定に寄与したこの取り組みができたことは、所期の目的を達成したものと評価できる。また、Webサイトの見やすさ、使いやすさ等を再度検証するとともに、改良も視野に入れた取り組みも検討していく必要がある。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>費用分析は困難なものであるが、目的を達成することができており、当該事業費は妥当なものと考えている。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <p>全町民が全国各地に避難し分散している中でインターネットを活用した本事業は、復興まちづくり計画等の策定に大いに寄与したことから、この事業手法は妥当なものと考えている。</p>
事業担当部局	復興推進課 電話番号:0246-84-5203